

平成20年6月13日

各 位

会 社 名 ジーエルサイエンス株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 森 憲 司
 (コード番号：7705 東証第二部)
 問 合 せ 先 取締役管理本部長 高 橋 良 彰
 (T E L 03-5323-6633)

(訂正)「平成20年3月期 決算短信」の一部訂正について

平成20年5月13日に発表いたしました「平成20年3月期 決算短信」の一部に誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。

なお、訂正箇所は下線「 」を付して表示しております。

記

(訂正箇所)

1. 【1ページ】

2. 配当の状況

<訂正前>

(基準日)	1株当たり配当金					配当金総額 (年間)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1 四半期末	中間期末	第3 四半期末	期末	年間			
19年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
20年3月期	—	—	—	45 00	45 00	251	42.5	1.9
21年3月期(予想)	—	—	—	45 00	45 00	<u>251</u>	43.9	1.8
21年3月期(予想)	—	—	—	45 00	45 00	—	30.0	—

<訂正後>

(基準日)	1株当たり配当金					配当金総額 (年間)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1 四半期末	中間期末	第3 四半期末	期末	年間			
19年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
20年3月期	—	—	—	45 00	45 00	251	42.5	1.9
21年3月期(予想)	—	—	—	45 00	45 00	<u>249</u>	43.9	1.8
21年3月期(予想)	—	—	—	45 00	45 00	—	30.0	—

2. 【4ページ】

1 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

〈略〉

セグメント別の状況

<訂正前>

(分析機器事業)

〈略〉

このような低迷状況の打開策として、第4四半期に当社の底支えをしている消耗品「イナートファミリー」の販売強化キャンペーンを実施した結果、当期の自社製品全体での売上比率は計画 65.5% に対して実績は 63.3% と 2.2 ポイント及ばなかったものの、自社消耗品の売上比率は実績 67.0% と計画を 1.5 ポイント上回ることができました。

〈略〉

<訂正後>

(分析機器事業)

〈略〉

このような低迷状況の打開策として、第4四半期に当社の底支えをしている消耗品「イナートファミリー」の販売強化キャンペーンを実施した結果、当期の自社製品全体での売上比率は計画 63.4% に対して実績は 61.7% と 1.7 ポイント及ばなかったものの、自社消耗品の売上比率は実績 67.0% と計画を 3.6 ポイント上回ることができました。

〈略〉

以 上